

スマイルだより

(社) 堺市歯科医師会
堺市口腔保健センター
歯のスマイル館

歯のけが（外傷）

「歯のけが」で「むし歯」でもない「歯周病」でもない、しかも若く健康な歯を突然失ってしまうことがあります。しかし「けが」はすぐに手当をすればみちがえるように治ることも多いのです。例えば歯が折れてしまったら、歯が抜けてしまったら、あなたはどうしますか？

破折（歯が折れる・割れる）について

- ① 歯冠破折・・・歯冠破折はもっとも多い折れ方で、目でみてすぐわかります。
- ② 歯根破折・・・一見折れていないように見えても、骨の中の歯が折れていることがあり、これを歯根破折といいます。
- ③ 歯冠－歯根破折・・・歯冠から歯根にかけて折れているものを歯冠－歯根破折といいます。

歯のけが（外傷）で最も多いのが歯冠の破折です。折れて取れた歯をすぐに探して保存し、それを持ってできるだけ早く歯医者さんに診てもらい、適切な時期に適切な方法で修復・治療してもらいましょう。治療法は、折れた程度や残った歯の状況によっていくつかあります。

① 歯冠破折のいろいろな治療

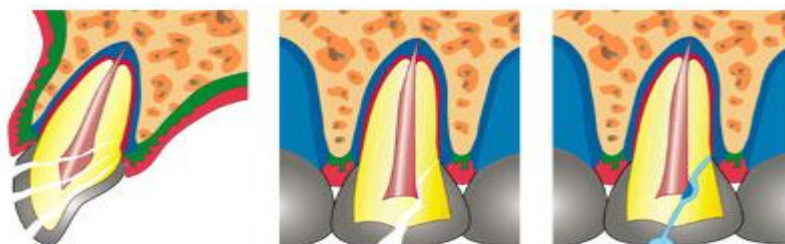
わずかな破折の場合は、少し削ってとんがりを丸めます。少し大きな破折の場合は、元の歯の色に合わせたコンポジット・レジンという材料で無くなった部分を修復したり、大きく折れた破折の場合は、歯の神経を治療し、人工の歯をかぶせたりします。

② 歯根破折の治療

折れた部分の移動が大きくなり、すぐに歯を戻した場合、歯も神経も助かることがあります。しかし折れた部分があまりにも歯肉に近い場合は、折れた部分を取ってから根っこ部分のみを残すか、それもだめなら、その歯を全部抜くこともあります。

③ 歯冠－歯根破折の治療

治療前（A）の図のように歯冠－歯根破折の特徴は、折れた部分が歯肉とくっついて取れないことです。まず折れた部分をそのままにして、露出した神経を保護し、その後コンポジット・レジンで折れた部分を元の歯に接着する治療例（B）があります。



A

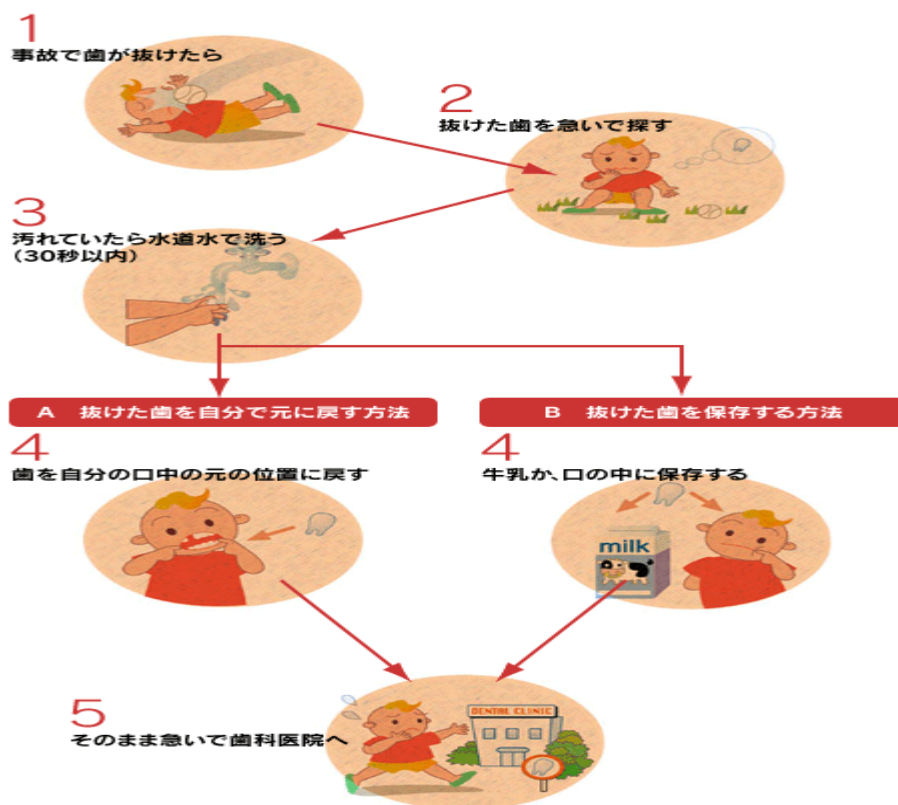


B

—裏面につづく—

脱落歯の応急処置

脱臼の中でも、歯が完全に抜けてしまうような場合を脱落といい、すぐに手当をすれば歯を助けることができます。抜けた歯が助かるかどうかはこの抜けた歯についている歯根膜が活着しているかどうかにかかっています。歯根膜は乾燥に弱く、口の外ではおおよそ30分ぐらいしか生きていません。抜けた歯を助ける最も良い方法は、歯を自分でまず元の位置に戻してみる事です。もちろん地面に落ちた歯は水道水で30秒以内洗ってから戻します。もし抜けた歯を戻せない場合は、抜けた歯を口の中に入れておくか、牛乳の中に漬けておくのが最良です。そこでできるだけ早く歯医者さんに行きましょう。



歯のスマイル館

☆開館日 火曜日・木曜日 午後1時～4時
日曜日・祝日 午前10時～午後4時
(12時～1時 閉館)

☆歯っぴいスクール (要予約)

歯や歯肉の健康づくりのために集団歯科保健指導を実施
詳細は歯のスマイル館の開館日にお電話にてお問い合わせ下さい。

〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-3

TEL 072-243-1900

